

ほろにか

令和3年4月15日
全国卸売酒販組合中央会

「道頓堀とおちよん」

近畿卸酒販組合
理事長 竹内 昭二

今年は、例年になく桜の開花も早く、昨年できなかった「さあ、花見で一杯」と行きたかったところですが、残念ながら今年もかないそうにありません。

コロナ禍から早一年、感染予防をしながらの生活が日常となり、感染予防をしていれば、風邪もひかないし、インフルエンザにもかからない、皮肉なことにコロナが教えてくれました。

ところで、皆さんは今放映中のNHK朝ドラ「おちよん」をご覧頂いてますか。ドラマの舞台の中心は大阪の道頓堀、主人公のモデルは「大阪のお母さん」と呼ばれた浪花千栄子さんです。

浪花千栄子さんは夫二代目渋谷天外さん共に、道頓堀で松竹新喜劇を立ち上げます。この道頓堀、食い倒れの道頓堀というイメージが強いかもしれませんが、江戸時代から多くの芝居小屋が連なる芝居の街でした。ドラマでも道頓堀の賑わいがよく現れます。

この芝居見物というのが、なかなか贅沢な遊び。前夜より船で芝居茶屋への乗り込み、食事と酒を楽しみながら一夜を過ごし、翌日芝居を楽しむというものでした。翌日の幕間にも、芝居茶屋に戻り、食事と酒、芝居に酒は付き物でした。

話を浪花千栄子さんに戻します。皆さんは浪花千栄子さんと言えば何を思い出しますか。多くの方は「オロナイン軟膏」のTVCMを思い出されるのではないのでしょうか。このCMに起用された訳は彼女の本名にあります。彼女の本名は「南口キクノ」。まさにオロナイン「なんこうきくの」、これが決定打となり、当時起用されていた大村崑さんに代わって起用されます。偶然とはいえ、何とも洒落れてると思いませんか。

彼女は夫二代目渋谷天外と離婚し劇団をやめ、一時は芸能界を引退状態になりましたが、戦後ラジオの連続ドラマで、これも当時大人気のお笑い芸人花菱アチャコさんの相手役で復活、その後もラジオや映画で大活躍されます。ちなみに大阪北浜に、花菱アチャコさんの曾孫さん経営の「たこ焼き居酒屋あちゃこ」という店があります。曾孫さんなかなか美人ですよ、大阪に来た時、興味がおありの方は是非どうぞ。

ということで、お酒の話と大きくそれてしまいましたが、道頓堀は大阪屈指の繁華街であり多くの飲食店が集まる場所。その道頓堀がこのコロナ禍で閑散としてしまいました。これは道頓堀に限らず全国の主要な繁華街での景色だと思えます。私たちは、コロナ禍でも、安心安全な飲食の在り方をこの一年間で学んで来たと思えます。酒類市場の活性化は業務用と家庭用の両輪が揃ってこそ達成できるものだと思います。厳しい時こそ、新しいことに挑戦できる時と思いいこの一年また頑張ろうと思ってます。